

正中元年とするこの文書に於いて之を述べたるものは怪しむべし。第二、總持寺は能登第三刹なるものを吾宗第三刹とするものは怪しむべし。第三、正中の改元は十二月九日にあり。然るに本文書三月十六日にして正中の號を冠するものは怪しむべし。是等により本文書を後人の假作と見るべし。

七月七日。瑩山紹瑾、鳳至郡總持寺の住持職を峨山紹碩に譲與す。

【總持寺文書】 鳳至郡

一九五

南閣浮提大日本國能州樺比庄諸嶽山總持寺住持 紹瑾
今月七日、請當首座峨山禪師、讓與住持職、紹續轉法輪者。右峨山老者予三十年同宿、公三八年開悟、揚眉瞬目中知有已眼、破顏微笑處、事弁主宰。草露菓熟不許稍光晦迹、宗風一興難藏祖師命脈。人天推請初轉法輪、新命當頭和尚容納陞座。

元亨四年甲子七月七日

謹疏
住持紹瑾狀請

九月十日。武藏金澤稱名寺領能美郡輕海郷河内新開田數を同寺に注進す。

【稱名寺文書】 武藏

一九六

輕海郷河内新開田數注文
輕海郷

元亨四年九月十日金平田數注文

- 一、惣次郎 一段十代 三段 六段十代 一段 廿五代 廿五代 五段 一段卅五代 已上一丁九段五代
- 一、五郎二郎 二段十代 三段 一段 卅五代 二段 二段 八段十代 四段廿五代 二段 四段卅代 已上三丁十五代
- 一、佐藤次郎 十代神田 一段卅五代 一段卅五代 四段廿五代 一段卅代 卅五代 廿代 一段 已上一丁二段廿代

- 一、六郎次郎入道 一段廿五代 九段 九段 二段 已上一丁一段廿五代
- 一、圓阿彌陀佛 二段卅代 卅代 已上三段廿代
- 一、又次郎 二段廿代 八段 三段 已上一丁三段廿代
- 一、三郎太郎入道 十代 已上十代
- 岩泉分
一、彌太郎 四段卅代 二段廿代 四段卅五代 已上一丁一反卅五代
- 塩原分
一、五平次 神田 四段卅五代 一段卅代 廿代佛具田 二段廿代 一段五代 一段廿五代 四段 一丁三段 五段 一丁 一丁三段 一丁 一丁 一丁 六段卅五代

- 一、孫三郎 已上九丁三段廿代 卅五代 二段十代 一丁一段十代 六段廿代 六段 一丁 一丁一段廿代
- 池城分
一、新二郎 廿五代 卅代 卅五代 二段卅代 十五代 廿代 已上四段卅五代
- 一、權二郎藤内 神田 二段廿五代 卅五代 三段十代 一段十代 卅代 五代 已上一丁二段卅五代
- 一、勢次郎 卅代 三段 卅代 卅五代 廿代 已上六段廿五代
- 一、新源次 二段廿代 二 卅代 已上五段
- 岩上分
一、大ひげ入道 四段廿五代 十代 十五代